JAKEHS 東地区定例会

日時：2015 年６月 14 日（日）１０：～１３：００
場所：コリ文語学堂（JR 横浜駅）
参加者：
武井一さん（都立日比谷高校など）
田附和久さん（神田女学院高校、YMCA 東京日本語学校）
倉島礼子（都立町田総合高校など）
山下誠さん（横浜鶴見総合高校）
崔明淑さん（横浜商工高校、在日韓国 YMCA）
呉文淑さん（慶明学園高校など）
黒澤眞爾さん（関東国際高等学校）
中野敦さん（公益財団法人国際文化フォーラム）
＊沈ヒョンミンさん（公益財団法人国際文化フォーラム）
長渡洋一さん（立教高校など）
鄭ヒョンヒさん（韓国文化院世宗学堂など）
＊李守さん（昭和女子大学）
＊斎藤盛午さん（立教池袋中学校・高等学校）
＊石黒みのりさん（都立青梅総合高校）
＊金恩志さん

概要：
１）自己紹介と近況
・参加者の学校の近況が報告されました

２）今年度授業を振り返って
事例発表１「都立青梅総合高校授業報告」石黒みのり
・授業は教科書の通りではなく、３限目にハングルの読み書き・韓国語のフレーズ紹介、４限目に韓国語ジャーナルを参考にして韓国の文化や社会を紹介する形式をとった。フレーズ紹介では、時期にあった短い会話文を紹介している。（시험 잘 봤어요? / 골든위크 어땠어요?）

・前期で文字は終了する予定である。
・今後の課題として、授業内容及び資料の工夫や、教え方の向上が必要である。
・２，３年生の選択科目だが、どう扱えばよいのかわからない。

全く別ものとして考えている。（武井）
本人たちの意思に関係なく、混ぜて会話練習などを行っている。（山下）
タスクを与えて全員で達成させるようにしている。それぞれに合った役割を与えるが、全員が一つの目標に向かってやる。（中野）

３）全国研修について
「高大接続の課題」
・大学卒業後の課題として、言語専攻の場合は出口が狭いことから、言語専攻以外の大学に焦点を当てる。
・入学時点でレベル提示がある大学・言語専攻ではない先生が担当している大学
【武蔵大学　人文学部　日本・東アジア文化学科】
AO は 7 月　ハングル検定３級（原文を読める能力）３人募集
【立命館大学　文学部　東アジア言語・文化専攻】
２，３年次に韓国・中国を半期かけて回る。３か国語を操れる人材育成。
AO は５名募集　ハングル検定４級、TOPIK２級を取得していること
【文教大学　異文化コミュニケーション学部】
自由選択受験　ハングル検定３級、TOPIK３級を取得していること
【昭和女子大学　人間文化学部　国際文化学科】
英語＋ドイツ語・フランス語・スペイン語・韓国語・中国語・ベトナム語（新設予定）
AO・指定校・公募で学生を募集している
・日程は 11 月２２・２３日

４）第 2 言語必修化について（山下）
・英語＋第 2 言語の必修化を目指す
・現在は指導要領もなく、全国で自由に授業を展開している。
・課題
時間がどれだけ取れるのか？
教師がいるのか…
外国語の免許状が必要になる。複数教科担当制になるのは必然的である。複数教科免許状を持っている教師が２人は必要になる。
現在、情報や福祉の教員の採用のほとんどが複数免許の教師である。
そもそも、それぞれの言語の免許状を持っている人がどのくらいいるのかを把握する必要がある。
日本語の授業が含まれていないのはなぜか。繋がればメッセージ性が強くなるのでは。（中野）→視野には入れているが、まだ議論はしていない。
ALT 制度を使ってもよいのではないか。例えば国立国語院の教員免許状。（呉）